

国際 P2M 学会誌 P2M マガジン 13 号目次

| 分類 | 氏名 | 所属 | 題目 | 頁 | |
|----|--------|--|------------|---|-----|
| 1 | 巻頭言 | 川上 毅 | 環境再生保全機構理事 | 地域に向けて吹く環境政策の風とこれを支える政策研究 | 1 |
| 2 | 特別報告 | 田隈広紀 | 千葉工業大学 | ジャーナルの貢献度・権威を示す h5-index で国際 P2M 学会誌が国内 8 位に！ | 3 |
| 3 | 特集の扉 | 編集委員会 | 編集委員 | 特集「新しい地域社会創生のための P2M 適用事例」 | 5 |
| 4 | 特別寄稿 | 長崎裕司 | 農研機構本部 | 地域社会創生に貢献する農研機構の取組事例 | 6 |
| 5 | 特別寄稿 | 天谷賢児、板橋英之、 金井 昌信、小竹 裕人、 関 庸一、太田 直哉 | 群馬大学 | 大学を中心とした地域共創マネジメントの事例～低速電動バスの開発と地域課題解決の取り組みを中心に～ | 10 |
| 6 | 特別寄稿 | 江川賢一 | 東京家政学院大学 | 新しい地域社会創生を目指す健康づくりの取り組み 群馬県桐生市における健康な社会参加へのアクセシビリティとしての公共交通機関の事例から | 21 |
| 7 | 寄稿 | 重藤 さわ子 | 事業構想大学院大学 | 新しい地域社会創成のための研究開発プログラムと P2M —バリューチェーンの大幅な低炭素化に向けたプラットフォームマネジメント— | 28 |
| 8 | 寄稿 | 亀山秀雄 | 東京農工大学 | 地域社会創成における P2M を活用した仕組み作り事例と成果 —HOPE80 での研究事例から— | 34 |
| 9 | 寄稿 | 小島由美 | 群馬大学 | 桐生における未来創生塾を事例とした市民参加の地域創生マネジメント | 45 |
| 10 | 寄稿 | 富田欣和 | 慶應義塾大学 | システムデザイン方法論を用いた地域活性化のプログラムデザイン事例 | 57 |
| 11 | 寄稿 | 平松 庸一 | 日本大学 | ソーシャル・イノベーションと P2M プログラムマネジメントの可能性 ～プログラムマネジメントへの多様なアプローチ～ | 62 |
| 12 | 寄稿 | 大和田順子 | 同志社大学 | 関係人口による地域価値共創プログラムと地方創生人材育成モデル —宮崎県五ヶ瀬町「関係人口創出事業」を事例に— | 66 |
| 13 | 寄稿 | 岡田 久典 中川 唯 | 早稲田大学 | 早稲田大学環境総合研究センターにおけるプログラムマネジメント研究・実践について | 75 |
| 14 | 寄稿 | 永井 祐二 中野健太郎 李 洸昊 | 早稲田大学 | 地域課題解決型プロジェクトの実践と P2M 適応の実情について | 81 |
| 15 | 寄稿 | 神崎博之 | 国際 P2M 学会員 | 我が国 SDGs 達成に向けた教育のデジタル化の取り組みと P2M の創造的統合マネジメントの有効性について | 86 |
| 16 | 大会顔末記 | 当麻哲哉 白坂成功 | 慶應義塾大学 | 第 31 回 国際 P2M 学会春季研究発表大会 結果報告 | 89 |
| 17 | コラム(1) | 吉田邦夫 | 名誉会長 | AI 時代に求められる人材——STEM から STEAM、そしてデザイン思考へ | 93 |
| 18 | コラム(2) | 吉田邦夫 | 名誉会長 | 加速化する諸々の歩み | 97 |
| 19 | コラム(3) | 山本佳世子 | 日刊工業新聞社 | 「スペシャリストで少数派」の落とし穴 ～新たな多様性時代へ | 100 |
| 20 | 研究室紹介 | 小笠原秀人 | 千葉工業大学 | 小笠原研究室紹介 | 102 |
| 21 | 図書紹介 | 重藤さわ子 | 事業構想大学院大学 | 三重野真代、交通エコロジー・モビリティ財団 編著「グリーンスローモビリティ 小さな低速電動車が公共交通と地域を変える」 | 104 |
| 22 | 図書紹介 | 亀山秀雄 | 東京農工大学 | 大隅典子、大島まり、山本佳代子 共著「理系女性の人生設計ガイド」 | 106 |
| 23 | 編集後記 | 佐藤達男 | 副編集委員長 | 編集後記 | 107 |